

アプリを活用したバリアフリー情報投稿実証 実証参加のご協力をお願い

資料1



実証実験の概要

実証実験の概要（お願い事項）

- ✓ 街歩きをしながら見つけたバリアフリー情報（段差や多目的トイレ等）をアプリを使って投稿するイベントにご参加下さい。
- ✓ イベント後、1ヵ月間お手持ちのスマートフォンで普段の生活の中で好きなときに、町中で見つけたバリアフリー情報を投稿して下さい。



➤ 実証日時：

- ✓ **投稿体験イベント：2019年1月19日（土）13時～17時**
※荒天の場合は、延期となります。
※イベント後～1ヶ月間は日常生活の中で投稿してください。

➤ 実施場所：

- ✓ 投稿体験イベント：ワйм貸会議室 御茶ノ水 会議室D
(千代田区神田駿河台2-1-20 お茶の水ユニオンビル4F/ JR御茶ノ水駅 徒歩2分)
※イベント後は千代田区内の指定エリアで投稿できます

➤ 参加対象：千代田区にお住まい、または訪問される機会のある方

- 持ち物：筆記用具、ご自身のスマートフォン
(※当日は、暖かい服装でお越し下さい)

➤ 参加申し込み方法

- ✓ 右記QRコードまたは下記URLの**参加申し込みフォーム**へアクセスし、必要事項を記入してください。

(<https://goo.gl/forms/kFS8ITo0T8AWYuog1>)



※応募者多数の場合は抽選となります。アプリのダウンロード方法は参加される方にメールにてご連絡差し上げます。ご了承下さい。

- **主催**：国土交通省、NTTデータ経営研究所
- **実証協力**：千代田区

実証実験の背景

- 国土交通省では、バリアフリー情報（車いす等で移動する際に障がいとなる段差等や多機能トイレの情報、等）を幅広く収集するため、バリアフリー情報を、一般の方から投稿頂くモデルを検討しています。
- モデル検証のため、地域の方が身の回りのバリアを自由に投稿いただく「アプリを活用したバリアフリー情報収集に関する実証実験」を実施します。

バリア情報をアプリで記録

ご自身の周りにおけるバリアフリー情報をスマホアプリで投稿します。



収集した情報の共有・閲覧

投稿情報は他の利用者に共有されます。投稿された情報から、車いすでも通れる道が分かるようになります。



実証終了後の成果・データの取り扱い

- 実証実験中に投稿いただいたデータは、アプリ利用規約等に従って管理され、データ分析の上、成果として取りまとめいたします。取りまとめた内容は、有識者委員会への報告、国土交通省HPへの掲載等で使用する事を予定しています。
- また、投稿いただいたデータは、移動に困っている車いす利用者等が自由に移動できる環境づくりのために、最終的に公開することを予定しています。



※実証実験は、NTTが開発した、車いすやベビーカーで移動される方などへの道案内（ナビゲーション）に必要なバリアフリー情報を収集する技術「MaPiece®」を活用して行います。（※1「MaPiece」はNTTの登録商標です。）

※利用環境：iOS 12 以降に対応（iPhone・iPad アプリの場合）/Android 7以降に対応（Android アプリ）

問い合わせ先

- アプリを活用したバリアフリー情報収集に関する実証実験事務局
（NTTデータ経営研究所内） **E-mail: barrier-free2018@keieiken.co.jp**